

集音盤

「モノは無駄にせず、有効活用したい」と語るのは広島県鉄構工業会の山本泰徳理事長（フアントス社長）。22日に開かれた47回通常総会で、マスクの需給が正常化してきていることを受け、政府から配布されるマスクを各家庭で全て消費するの



## モノは無駄にせず有効活用

は難しいと考え、会員各社から集めて小児病棟へ寄付する社会貢献活動を提案した。

▽：配布されるマスクに

▽：新型コロナウイルス感染症により、飲食業や宿泊業、農業など多くの業界が苦境に立たされている。「農業では、学校が休みになり給食がなくなることから、野菜が廃棄されている。われわれに置き換えてみれば、汗水流して一生懸命造った鉄骨が、使わずにスクラップになることと同じ。それは悲しいことではないか」と、問いかけた。政府から配布されるマスクも同様、家庭に眠ることがないよう、できるだけ有効に活用する方法を考えていたという。

▽：大人にはサイズが合わないケースはあるが、子供には良い大きさだ。小児病棟であれば、われわれが使用するよりも、より効果的な利用ができるのではないかと話す。病院では新型コロナウイルスの院内感染を防ぐため、マスクを使い続けなければならぬ。多くのマスクが必要だが、寄付をして届けば大きな支援になる。必要としているところで活用してもらえれば、モノは無駄にならない」と語る。（長）